

# 福島市についてRESASを使った調査

<資料1 福島県福島市 農業部門別販売金額> 2010年

<資料2 福島県福島市 農業部門別販売金額> 2005年



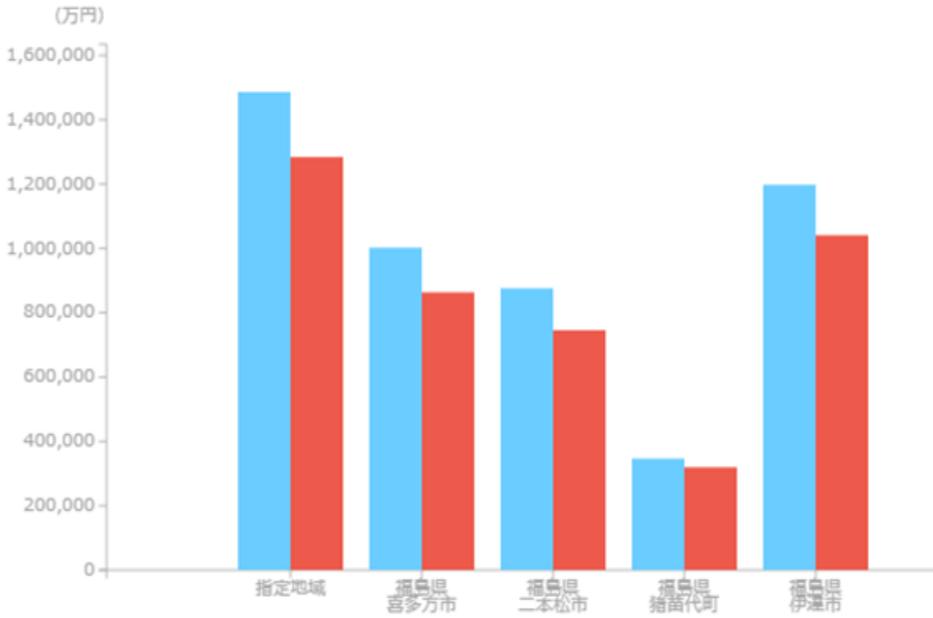
農業の問題は大震災だけが原因でないことに気が付いた

<資料3 福島市、喜多方市、二本松市、猪苗代町、伊達市の農産物販売金額>

農産物販売金額（総額）

指定地域：福島県福島市  
農業部門：すべての農業部門

2005年 2010年



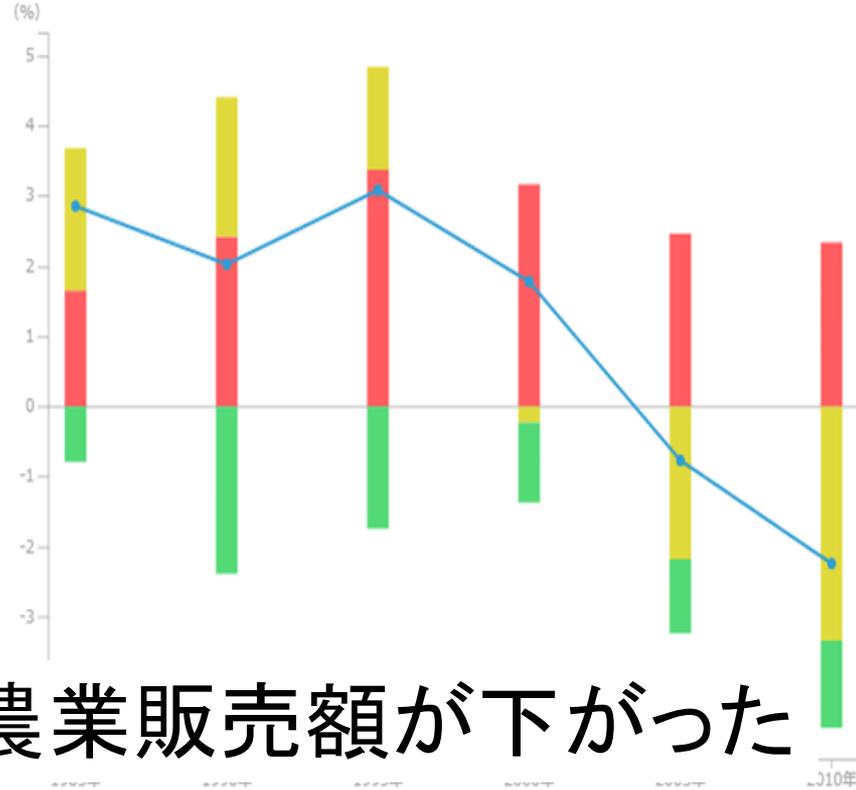
【出典】  
農林水産省「農林業センサス」再編加工

<資料4 福島市の人口の変化>

福島県福島市

人口増減

老年人口 生産年齢人口 年少人口 総人口



予想：人口が減少したから農業販売額が下がった

# 農家への聞き取り調査



## 《課題》

- 高齢者になり農業をやめる人が多い
- 農家を継ぐ人がいない
- 果物の価格が下がっている

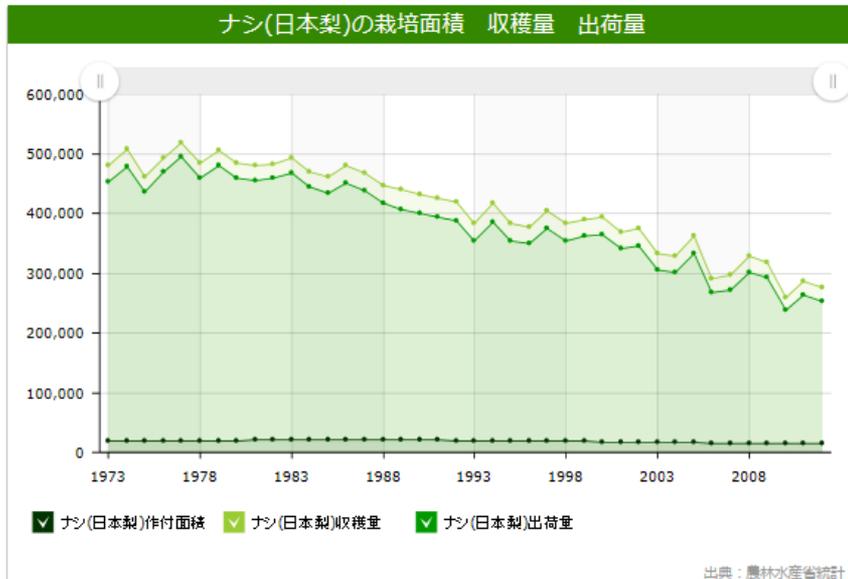
# 農協への聞き取り調査



- 後継者が少ない
- 果物の消費量が減っている

# なぜ果物の消費量が減少したのか？

## ナシの栽培面積・ 収穫量 出荷量



※年代は統計によってバラバラなのでご注意ください

## モモの栽培面積・ 収穫量 出荷量



資料「果物ナビ」<http://www.kudamononavi.com/>

# 飯坂温泉観光協会への聞き取り調査



- 若い人が少ない
- 外国人が来ない
- 除染が終わると客室が空く

# ・なぜ観光客が減少してしまったのか

RESASを使って福島、東京を訪れる外国人を調べた

<資料7 福島県と東京都を訪れる外国人の数>

	福島県の外国人旅行者	東京都の外国人旅行者
全ての合計人数	50902 人(2014 年)	6898247 人(2014 年)
	27151 人(2011 年)	3148563 人(2011 年)
アジア	34823 人(2014 年)	4866448 人(2014 年)
	15707 人(2011 年)	1968728 人(2011 年)
ヨーロッパ	3550 人(2014 年)	459213 人(2014 年)
	3446 人(2011 年)	248756 人(2011 年)
北アメリカ	12079 人(2014 年)	750119 人(2014 年)
	3983 人(2011 年)	401682 人(2011 年)
大洋州	450 人(2014 年)	219308 人(2014 年)
	1085 人(2011 年)	105180 人(2011 年)

<RESAS 観光マップ 外国人訪問分析より>

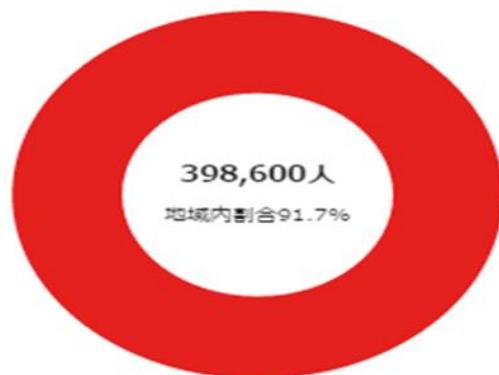
# 国内からどれくらい福島市に観光に来るのか？

福島によく来るのは福島に接している県...宮城県、山形県  
逆に中国、四国、九州地方からほとんど来ない

観光マップ | From - to分析 (滞在人口)

滞在人口 / 都道府県内

(都道府県単位)

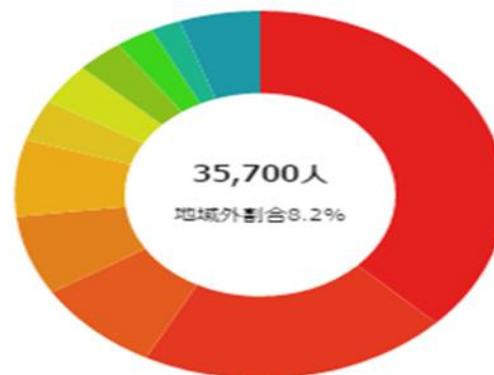


滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 福島県 398,600人 (100.0%)

滞在人口 / 都道府県外

(都道府県単位)



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 宮城県 13,300人 (37.2%)
- 2位 山形県 7,300人 (20.4%)
- 3位 栃木県 3,000人 (8.4%)
- 4位 新潟県 2,500人 (7.0%)
- 5位 東京都 2,400人 (6.7%)
- 6位 埼玉県 1,300人 (3.6%)
- 7位 岩手県 1,300人 (3.6%)
- 8位 千葉県 1,100人 (3.0%)
- 9位 茨城県 900人 (2.5%)
- 10位 青森県 700人 (1.9%)
- その他 1,900人 (5.3%)

# 観光客が少ない理由は

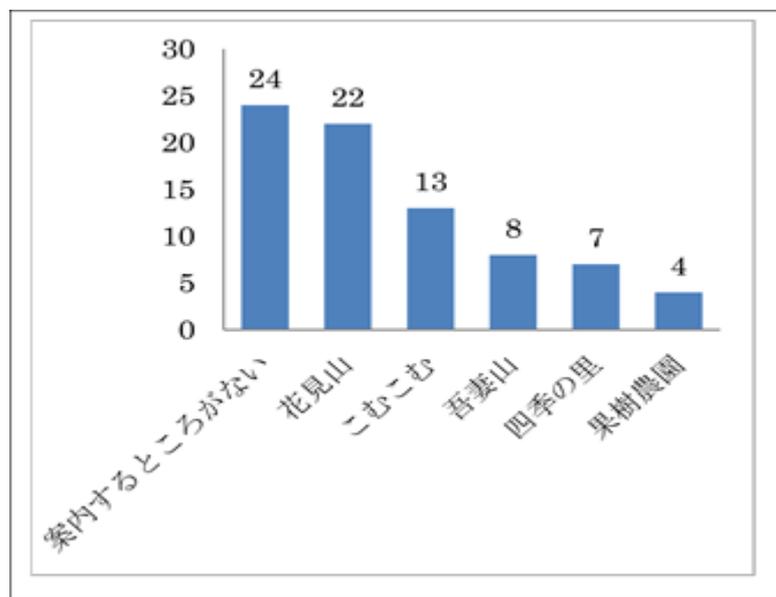
地元の人達にも、福島市の観光地は知られていないのではないか？



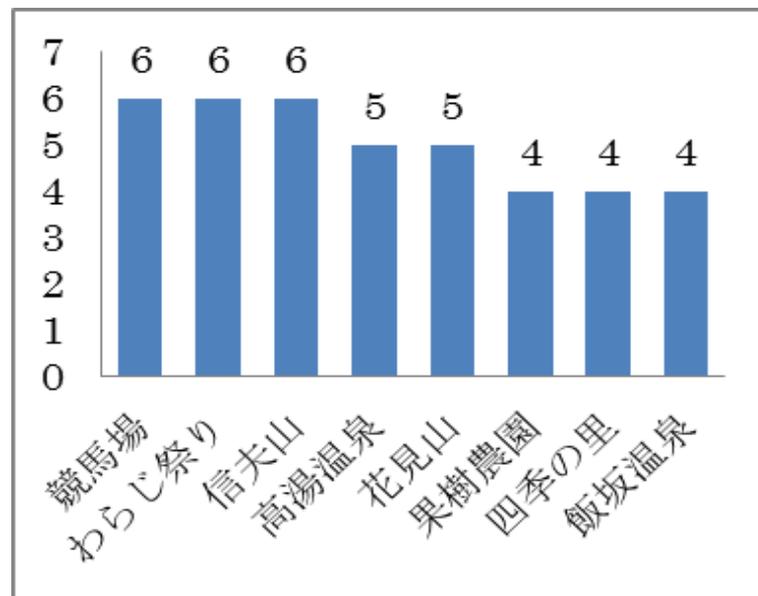
岳陽中学校 3 年、喜多方第一小学校の皆さんにアンケート

※喜多方第一小学校は、メンバーの渡辺美桜里さんの出身校

## 福島の名所



(岳陽)



(喜多方)

# 地方創生プラン

## (1) 私たちの考える地方創生プラン

私たち中学生が福島市の魅力あふれる旅行プランを作成する。

その旅行プランを旅行会社に提案し、福島市の協力も得ながら実施する。

旅行の際は、自分たちが「福島中学生案内人(仮)」として、ガイド役を務める。

## (2) 旅行プランを募集するときに使う福島市を紹介する キャッチフレーズ

気軽に来れて、いやされる、「花も実もある福島市」

### (3) 私たちが取り組むこと

- ① 私たち中学生の視点から、「楽しい」「行ってみたい」と思う旅行プランを作ります。
- ② 私たち中学生がガイド役としてお客様を案内します。
- ③ 私たちか観光地を巡るCMを作り、YouTube等の動画投稿サイトに動画をアップして観光客を募集します。
- ④ 観光と農業を合わせることで新しい旅行プランを作ります。
- ⑤ 旅行会社と福島市に旅行プランの実施の協力をお願いします。

# 名物円盤ぎょうざ

## プラン(案)

1日目(午前)スカイライン

(午後)飯坂温泉街歩き

2日目(午前)果物狩りと共選場見学

福島<sup>の</sup>郷土料理を食べる



写真提供 万来様

## 共選場の様子



写真提供 JA新ふくしま様

# 私たちの今後の予定

12月中旬(作成中)

飯坂温泉街歩きプラン作成。

12月20日(日)

私たちが作ったプランで福島や宮城の先生方を飯坂温泉街歩きに案内する。

1月～

市内の他の地域の観光プランも作る。

## お世話になった方々

- JA新ふくしま 清野様 • 果樹農園 角田様
- 飯坂温泉観光協会 畑中様 • 飯坂温泉 麵飯酒家万来様
- ALTの先生 • アクセンチュア村重様 • 福島大学の皆様
- 喜多方一小の皆様 そのほかたくさんの皆様